今の暮らしに合う、モダンアンティークのすすめ

アンティークを暮らしに取り入れたいと思っている人は少なくないでしょう。しかし、そのデザインや価値は、作られた国や時代、様式、クオリティなどによってそれぞれ異なります。幅が広く、奥が深いアンティークの世界の中で、自分の選ぶ物が本当に価値のある物なのか、価格は妥当なのか…。アンティークの買い物には、こうした不安や懸念がつきものです。

けれども、ある程度の知識と情熱を持ってアンティークのドアを開けば、これまでにない豊かな世界を手にすることができます。その物がまとっている時間や注がれた愛情は、ただの物質を超えて、見る人、使う人に深い満足を与えてくれるでしょう。

今回は、リアルシンプルが最も現代の暮らしに合うと考える1950~60年代のモダンデザインを入口として、暮らしにアンティークを取り入れるためのさまざまなヒントをご紹介します。

撮影 安彦幸枝 スタイリング 市村美佳子(Velvet Yellow) 文 安藤菜穂子(編集節)

アドバイスを頂いた方々(敬称略) ユキ・パリス/キュレーター、コーディネーター、 ユキ・パリスコレクション オーナー http://www.yuki-pallis.com/ 石澤季里/ジャーナリスト、カルチャーサロン「アンティーク・ エデュケーション]主宰 http://www.antiqueeducation.com/

